

●発表日：令和8年(2026年)7月29日

田原市博物館テーマ展「没後 50 年 郷土の書聖 鈴木翠軒」

鈴木翠軒は、1889(明治 22)年に田原市堀切町で生まれた郷土出身の書家です。

1932(昭和7)年には、『甲種小学書方手本』(国定教科書)の揮毫者(1938 年完成)となり、全国に翠軒の名が広まりました。戦後、日展審査員などの要職を歴任し、1957 年「禅牀夢美人」で日本藝術院賞を受賞、1960 年には日本藝術院会員となり、1968 年文化功労者となりました。

翠軒は、漢字・かな、その他先人の筆蹟を徹底的に追求し、日本の書の気品ある美しさを謳いあげ、淡墨で流れるような伸びやかな独自の書風である翠軒流を確立しています。

故郷である伊良湖岬には、1961 年に麻統王の歌による『万葉の歌碑』が建立され、1987 年には生誕 100 年を記念して、岬に近い恋路ヶ浜に『桃源』の書碑も建立されています。

今回の展覧会では、日本書道界の重鎮となった鈴木翠軒の没後 50 年にあたり、郷土において改めてその書作品や愛用品等を館蔵品を中心に展示紹介し、翠軒芸術の世界を堪能していただけます。

1 開催概要

開催期間 令和8年8月8日(土)～10月4日(日)

会 場 田原市博物館 企画展示室1(田原市田原町巴江11番地1)

開館時間 午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日 毎週月曜日 *ただし9月 21 日(月・祝)開館、9月 24 日(木)休館

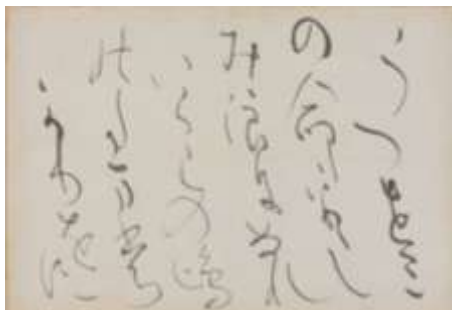
観 覧 料 大人 310円(240円)、小中学生 150円(100円)

※1 ()内は20人以上の団体料金

※2 東三河在住・在学の小中学生は、ほの国こどもパスポートの提示で観覧料無料

※3 9月 26 日(土)は鈴木翠軒の命日のため観覧無料

2 主な展示作品



「万葉一首(巻 1-24)麻統王歌」 1961 年
(「万葉の歌碑」揮毫元原本)
うつせみの 命ををしみ 浪にぬれ
いらごの嶋の たまもかりをす



「万葉一首(巻 1-48)柿本人麿歌」 1974 年
(同作品、迎賓館)
ひむがしの のにかぎひろの たつ見えて
かへりみすれば 月かたぶきぬ



「夢」 個人蔵

*詳細はチラシをご覧ください。

(担当)文化財課 天野・清水 電話(0531)22-1720